



11/3 木

## 鯖街道から Ca va bien

毎年11月3日(文化の日)に開催される「朽木鯖街道『鯖・美・庵!』祭り」が今年も市場商店街を中心に行われました。鯖・美・庵とは「こんにちば、元気です。」という意味のフランス語と、「鯖」街道沿いの「美」しいお店(「庵」)とを掛け合わせて名付けられたものです。祭りは今年で14回を数える朽木の秋の風物詩となっています。今年は途中あいにくの雨に見舞われましたが、約1,500名の方が来場されました。鯖・美・庵!祭り名物の「焼鯖」や鯖を使った「なれずし」、「へしこ」などの特産品や、高島市内の特産品も販売されま



した。またバナナのたたき売りや、江戸時代の行商の様子も再現され、商店街は活気にあふれました。

鯖街道交流促進会議(福井県小浜市、若狭町、滋賀県高島市)主催で、鯖街道のPRと地域の活性化のために、京都ほか市外からの参加者と2会場をめぐるツアーを行いました。



11/3 木

## 収穫いっぱいイベント満載

この日、今津産業フェア2005がAコープ今津店駐車場で開催されました。

この催しは、今津地域の農業、商工業、林業、水産業の取り組みを一堂に展示、紹介するもので、当日は、野菜品評会や果物の即売、特産品の展示販売、しみみ汁の無料サービスなどお目当ての店舗に多くの人々が並びました。また、イベントでは「風船師」によるストリートパフォーマンスや地元商工会青年部の方々によるよさこいソーラン、最後には、20人の参加者が約10mの巨大巻寿司づくりに挑戦、チームワークよく握られた巻寿司が会場の方々に配られ、皆さんに喜ばれていました。



11/13 日

## わくわくどきどきサイエンス



「不思議だな?」「なるほど!」って思ったこと、最近無いなあっていませんか? そんなみんなのために開催されたのが「2005青少年のための科学の祭典滋賀大会」。新旭駅前の地場産センターを会場に30を超える様々なブースが



出展されました。「超低温の世界へようこそ」では液体窒素で瞬間冷凍にビックリしたり、大きなしゃぼん玉にわくわくしたり、それぞれのブースでは、面白い催しがいっぱい。あっという間に時間がすぎるそんなわくわくどきどきの一日でした。

11/12 土

## 野球に夢をかけ、勇者が集う

10月19日に「地域に根ざし、地域住民に支えられ、そして地域の誇りとなる社会人野球チームを高島市に設立します」と宣言した現役メジャーリーガーの大家友和選手。そのチームのトライアウト(入団試験)がこの日、今津スタジアムで行われました。受験選手は101人。遠投や50m走、それぞれの守備などのメニューをクリアして2次試験に進んだ選手は約50人。また、野球に夢をかけ、一生懸命に頑張る選手を一目見ようと大勢の見学者も訪れていました。

次の2次試験は11月26日。真剣にプレーする姿をぜひ見に来てください。



10/27 木

## 旅なれば夜中を指して照る月の高島山に隠らく惜しも

高島万葉の会は、高島市永田の畑の一角に建てた万葉歌碑「旅なれば夜中を指して照る月の高島山に隠らく惜しも」の除幕式を行いました。万葉集約4500首のうち、旧高島町ゆかりの歌は六首ありますが、このほど同会発足5周年を記念し、勝野在住の万葉研究家藤井五郎先生揮毫により建てられました。これで、六首すべての歌碑ができました。

この地はいにしえより北陸道が通り、水陸交通の要衝で多くの旅人が行き交いました。みなさんも、新たに建てられた歌碑をふくめた六首の万葉歌碑巡りをされてはいかがでしょうか。

- 問い合わせ先
- ・高島観光協会：☎(36)8135
- ・高島歴史民俗資料館：☎(36)1553



10/23 日

## 自然と友だちになろう

あいにくの雨の中、詩人で童話作家の工藤直子さんと写真家の今森光彦さんをゲストにマキノ高原で「里山ジャンボリー2005」が開催され、を約100名の参加者の皆さんに楽しんでいただきました。午前中は今森さんにマキノの雑木林を案内していただき、クヌギのお化け「やまおやじ」に会うことができました。昼食はマキノの民宿の奥さん方にお世話になり、栗めしと里山汁をいただき、雨で冷えた体を温めることができました。午後からの対談では、「自然と友だちになろう」というテーマで、工藤さんと今森さんの楽しいお話をお聞きし、参加者の笑い声が会場にあふれ、温かい雰囲気につつまれました。今回のお二人のお話をきっかけに、離れてしまった自然との距離を少しでも近づけていただけを期待しています。



11/3・6 木・日

## 特産品で友好交流 大洲市・守口市

3日 「おおず浪漫祭」



6日 「守口市民まつり」

愛媛県大洲市と大阪府守口市は旧安曇川町のときに友好提携を締結し、合併後も引き続き交流を進めています。今回11月3日に「おおず浪漫祭」が行われ、市では物産品コーナーに出店しました。アドベリージュースや佃煮・鮎寿司など地元ならではの特産品を販売し、市民間交流をあたためてきました。また、6日には「守口市民まつり」が行われ大根等新鮮な野菜や漬物、うなぎの蒲焼きや味付けかしわなどを数多く出店し、たくさんの方に喜んでいただきました。

10/30 日

## つらいときほど前を見つめて!



安曇川公民館を会場にエッセイストの鈴木ひとみさんをお迎えして開催された「第1回高島市人権を考えるつどい」。

ファッションモデルとして活躍されている時に事故に遭い、一転、車椅子の生活に。絶望の毎日の中で、当時の婚約者であった夫から

かけられた「がんばらなくてもいい」ということばを胸に、悲観的から楽観的にと自らを奮い立たせ、新たな道を歩み始められた鈴木さん。その後、障害者スポーツなど様々な分野に意欲的に取り組まれ活躍の場を広げられています。悲しいお話だけでなく、ユーモアを交えて話される姿に、200人を越える会場のみなさんからは笑みがこぼれ、前を見つめられるようになった1日となりました。